

# 「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

平成28年11月2日(水)発行

- 1 頑張る農林漁業者の取組紹介
- 2 会津農林事務所からのお知らせ
- 3 会津農林事務所の取組紹介
- 4 研修・イベント情報



## 「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動」会津地方かわら版について

会津地方推進本部では、新生ふくしまの『食』と『ふるさと』の実現に向け、農林業者、県民、関係機関・団体が一体となり、様々な運動を展開しています。会津地方の農林業者の取組や、各部・所の取組、各種研修・イベント等の情報を発信するため、会津地方かわら版を発行しています。

## 頑張る農林漁業者の取組紹介



### 「人と種をつなげる会津伝統野菜」

#### 福島県立会津農林高等学校 (会津坂下町)

会津伝統野菜の栽培から商品開発・PR活動・研究及びシードバンクなどを行っている会津農林高校の取組を紹介します。

震災当初は水耕栽培を中心に活動していましたが、おいしい野菜は良い土で育てたいと思い勉強していたところ会津農書や会津伝統野菜に出会いました。会津伝統野菜は生産者が減り、種を保存して繋いでいくことが必要になっている厳しい状況の中で、営利を目的としない教育機関として貢献できるのではと考え、種を守る取組(シードバンク)や子供たちに繋ぐ取組(会津伝統野菜に関する食育事業及び次世代の福島を担う人材育成事業「専門学校と小中学校のキャリア教育連携事業」)を推進しています。

さらに、実践力をつけるため6次化商品の開発も行っています(福光赤筋にんにくのオリーブ漬け、小菊かぼちゃを地元企業にパウダー化してもらいパンやマドレーヌに使用するなど)。



会津農林高校の皆様

#### ○課題、今後の目標について

地元のシェフや農家などのアポ取りや連絡はすべて学生自ら行い、栽培も責任をもって管理させ、実践力が身につけられるような工夫をしています。会津農林高校の学生みんなが農業の仕事に就くわけではありませんが、このコミュニケーション力などの経験を社会に出てからも役に立ててほしいです。

#### ○消費者へのメッセージ

地元の方が知って・体験・経験して、農家や新規就農の若者の応援者になって欲しいと思っています。会津は観光地なので、文化+農業を地元で盛り上げていって、さらに地域の大切な食材を残していかなければならないと考えています。

## 会津農林事務所からのお知らせ

### ○第57回福島県農業賞受賞おめでとうございます！

9月9日、福島市の杉妻会館において、第57回福島県農業賞表彰式が行われ、会津地方からは、会津若松市北会津町の手代木淳様・浩美様、喜多方市塩川町の三橋和久様・恵美子様、柳津町郷戸の齋藤秀夫様・春代様が受賞されました。

手代木御夫妻は、水稲とトルコギキョウ、イチゴの栽培を組み合わせた周年栽培による営農の効率化や首都圏への販路拡大の取組などが評価されました。御二人は「今後も、品質を高めて県産農産物の信用を高めていきたい。」と抱負を語りました。

三橋御夫妻は、平成2年にトルコギキョウの生産を開始後、長期的な出荷に向けた栽培を進め、市場相場に左右されにくい安定した経営を実現していることが評価され、農林水産大臣賞と併せて受賞されました。御夫妻は「トルコギキョウが会津の農業を支える一つの柱になるよう一層努力していきたい。」と今後の目標を語りました。

齋藤御夫妻は、夏秋トマトの先進的な栽培技術等を率先して導入し、収量・品質とも地域のトップクラスを実現している経営が評価されました。御二人は「より美味しいトマトの生産を目指して日々努力していきたい。」と意欲を新たにしました。

受賞された皆様が、今回の受賞を励みに地域農業の担い手として、更なる経営発展を実現されることを御期待いたします。

【農業振興普及部】

### ○米の全量全袋検査を実施しています



検査現場視察対応の様子

県産米の安全確保のため、福島県は、24年産米から県内で生産された全ての米の放射性セシウムを検査しています。これまでに県全体で毎年1,000万点以上の米を検査しており、27年産米は、全て基準値(食品衛生法上の基準値100Bq/kg)以下でした。なお、会津農林事務所管内の米は、検査開始以来、全て基準値以下となっています。

福島県産農産物に対する風評は、依然として払拭されていませんが、福島県産米は、生産段階で放射性セシウムの吸収抑制対策を実施し、収穫後に世界に例のない一袋毎の検査を行うなど、安全・安心の確保に向けた対策を関係機関・団体と連携して継続しています。さらに、検査現場の視

察や報道機関への公開などの対応を通して、本県の取組を広くお伝えしているところです。また、会津産米(コシヒカリ・ひとめぼれ)は、一般社団法人日本穀物検定協会による27年産米の食味ランキングにおいて、最も評価の高い「特A」に格付けされ、県内外に良食味米として知られています。今年は、長雨のため収穫遅れが心配されましたが、品質は良好です。農家の皆さんが手塩にかけて育てた「極上の会津米」を、ぜひお召し上がり下さい。

【農業振興普及部】



会津地方の受賞者の皆様

## 会津農林事務所の取組紹介

### ○新宮川ダム見学について

会津美里町の小学3～5年生(高田小学校47名、宮川小学校28名、新鶴小学校33名、本郷小学校53名)たちが、7月～10月にかけて、森林環境学習等の一環として新宮川ダムを見学しました。生徒たちは、ダム堤体、取水設備、係船設備などの見学を通してダムの役割・施設について説明を受け、その後、ダムの水が田んぼの水に適しているかを確認するために水質調査を行いました。

ダム堤体の見学のなかでは、長い階段が続くダム監査廊を登り、普段行っているダム点検の一部を体験し、生徒たちからは、普段入れないところを見られて楽しかった、急な階段で大



ダム見学の様子

変だった、ダムの大きさを実感できたなどの声が聞かれました。また、水質調査では、一人一人がダムの水のpHを測り、ダムの水が中性付近であり、田んぼの水に適していることを確認しました。

見学を通して生徒たちは、普段眺めている川の上流に、自分たちに身近な田んぼの水として利用するために、水が貯められているダムがあることや、ダムの水を計画的に貯めることが、安定した米の収穫に繋がっていることなどを学びました。

【農村整備部・新宮川ダム管理所】

### ○磐梯第一・第二小学校緑の少年団の合同結団式が実施されました



誓いの言葉を宣誓する両緑の少年団の団長

磐梯第一小学校「ほたるっ子」緑の少年団、磐梯第二小学校緑の少年団の合同結団式が、9月14日に磐梯第一小学校において実施されました。

緑の少年団は、子どもたちが森林や緑に関する活動を通じて、心豊かな人間に育っていくことを目的とした子どもたち主体の団体であり、福島県内113団、会津管内33団の緑の少年団が結成されています(平成28年6月1日時点)。

今まで両校では、花壇づくりや森林環境学習、木工工作、きのこ栽培体験など様々な森林や緑に関する活動を実施していましたが、組織的な活動を更に進めるため、今年6月、新たに少年団を結成することとなりました。

今回の結団式では、第一小学校団員55名、第二小学校団員31名を代表して、両団の団長が、磐梯の自然を愛し、守り育てるための活動を実行する旨誓いの言葉を述べました。

平成30年、福島県で開催する全国植樹祭に向けた気運の高まりにつながるものであり、子どもたちの今後一層の活躍に期待が大きく寄せられます。

【森林林業部】

## ○「高郷モニターツアー(元気な農村創生企業連携モデル事業)」が開催されました



モニターツアー参加者の皆様

農業・農村の活性化を図るため、喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンター主催で喜多方市高郷町においてモニターツアーが9月24日から25日の2日間にわたり開催され、(株)東邦銀行や首都圏の企業など7社11名が参加しました。

1日目は、トウルシー畑(ホーリーバジルというインドの神聖なバジルのほ場)の見学や試飲、地元産「天のつぶ」などの食用米にこだわった酒づくりをされている『会津錦酒造』の見学、稲刈り体験を行いました。また、地元農家の方や関係者を交えた交流会が行われ農家民宿へ宿泊しました。

2日目は、「たかさど棚田ウォーク」に参加し受付や物販の手伝いを行った後、棚田や野山を散策しました。天候にも恵まれ

参加者達は棚田や立岩山からの景色に癒やされていました。また、意見交換会では企業と協働した地域づくりを行うための企画などの提案をいただきました。参加者の中には、「喜多方市は環境や素材としてとても良い物をたくさん持っているので、『どうして喜多方で農泊体験?』と聞かれないような『喜多方と言えば、〇〇だ』というものがあったら良いのではないか」などの提案があり、双方にとって有意義な場となりました。

地域の方々の協力により2日間楽しく過ごすことができました。また、今回の取組についてフェイスブックなどのSNSで高郷町や農村と企業の連携の魅力などの情報発信をしていただいております。

【企画部】

## ○「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを開催しました

10月9日に今年度第3回目の「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを道の駅あいづ湯川・会津坂下「第11回湯川村新米祭」に合わせて開催しました。今回PRしたのは会津産の新米、果物(リンゴ、ナシ)、ヨーグルト。うつくしまライシーホワイトの関本恭子さんにご参加いただき、会津産新米のPRをしました。昼夜の寒暖差が大きく、お米の粒が大きいこと、水がおいしいこと、土壌が豊かで刈り取り直前まで栄養分や水分が供給されることが会津産米のおいしさの理由です。

試食では、会津みずほ農場の会津産「天のつぶ」を使用した米粉パン&会津農林高校のイチゴジャム、会津中央乳業のべこの乳ヨーグルト&やまひろファームのフルーツソースを提供



キャンペーンブースの様子

したところ、雨にもかかわらず多くの方がキャンペーンブースを訪れてくださりました。また、県産農産物の消費動向等に関するアンケートに回答して下さった来場者先着400名様へは会津産のリンゴとナシをプレゼントしました。来場者の方からは「米粉パンはもちもちしていておいしかった」とか、「ヨーグルトは濃厚でとてもクリーミーだった」などのお声をいただき、好評のうちにキャンペーンを終えることができました。今年度最後の第4回目は12月3日(土)に道の駅猪苗代において開催予定です。

【企画部】

## ○会津共販三島市場の創立記念市(木材市)が開催されました



創立記念市の様子

本年9月、会津共販所のサテライト市場として、三島木材市場(三島町)が開設し、10月11日に創立記念市が開催されました。

これまで会津農林事務所管内には、会津共販所(会津若松市)および会津共販所サテライト市場(会津美里町)がありましたが、会津西部地域には木材市場等はなく、当地域の豊かな森林資源の利活用が進んでいませんでした。

そのため、会津流域林業活性化センターが中心となって関係市町村や林業事業者等と検討を重ねた結果、会津地方森林組合林業振興協議会(管内の3森林組合で構成)が主体となって三島市場を始めて開設するに至りました。

今回の木材市には、柳津町、金山町、西会津町を中心に、スギやカラマツ、キリが約2,800本(約510m<sup>3</sup>)出荷され、約430万円の取引となりました。

今年度は11月にも木材市が開催される予定で、今後、会津西部地域の木材流通拠点となり、地域材の利活用促進と地域活性化が図られることが期待されます。

【森林林業部】

## ○「田んぼの学校(ふくしまの農育推進事業)」学習田の稲刈りを実施しました

10月26日、会津美里町立新鶴小学校の小学5年生児童34名が参加して、学習田の稲刈りを実施しました。

一年を通して児童たちは、田植えや生き物調査そして稲の生長について学習を行うことで食や命の大切さを学んできました。

前日に雨が降ったため稲刈りが出来るか心配されましたが、天気も回復し秋晴れの中、収穫をすることが出来ました。児童たちは、大きな穂を付けた稲を観察し、丁寧に刈り取ることで自然の恵みに感謝し、昔ながらの脱穀作業を体験することで農作業の変化と昔の人の苦勞を知る機会となりました。

参加した児童からは「コンバインでは、全ての作業が一台で出来るが昔の人は、刈り取りや脱穀を一つ一つ手作業でやっていたことを体験し昔の人の苦勞がよく分かりました。」との声や「はじめて鎌を使い稲刈りを行いましたが大変でした。」などの話がありました。

今後は収穫祭を実施し児童たちが育てた米の味を感じ、食と命の大切さについて理解を深めていきます。



稲刈りに挑戦する児童の様子

【農村整備部】



## 研修・イベント情報

### ○農家民泊交流会を開催します

まちむら交流きこうの長谷川先生を講師にお迎えし、若者交流と地域資源の活用について学びます！

また、会津大学短期大学部産業情報学科等の学生さんたちにモニターツアーの成果発表をしていただき、意見交換を通して農家民泊実践者同士の交流の場とします！会津地方の農家民泊、グリーン・ツーリズム実践者同士が交流できる場です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

日時：平成28年11月15日(火)13:30～15:45

会場：やないづふれあい館(柳津町役場隣り) 会議室 (住所:河沼郡柳津町大字柳津字下平乙242-2)

内容 (1)講演「若者交流と地域資源の活用について(仮題)」

講師：(一財)都市農山漁村交流活性化機構 業務部広報情報 T 調査役 長谷川 雅彦 氏

(2)モニターツアーの成果発表、意見交換

モニターツアー体験学校と受入農家民宿による成果発表、講師を交えた意見交換

申込期限：平成28年11月7日(月)

問い合わせ：会津農林事務所 企画部 担当 齋藤

電話：0242-29-5369 メール：kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

### ○平成28年度あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催します

あいづ“まるごと”ネットでは、会津・南会津地方の地域産業6次化をより一層推進していくため、今年度第2回目の交流会を開催します。

日時：平成28年11月22日(火)13:30～15:20

会場：下郷ふれあいセンター(下郷町役場向かい) 2階研修室

(住所：下郷町大字塩生字大石1000)

内容 (1)講演

『会津田島アスパラ』のペーストで広がる新たなビジネスチャンス(仮題)」

JA 会津よつば、しらかわ五葉倶楽部より発表

(2)試食会

『会津田島アスパラ』のペーストで作ってみました。『シェフおすすめの逸品』

講師：(株)山際食彩工房 代表取締役 山際 博美 氏

申込期限：平成28年11月10日(木)

問い合わせ：南会津農林事務所 企画部 担当 馬上

電話：0241-62-5252 メール：kikaku.af05@pref.fukushima.lg.jp

2016年11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



【企画部】

### 【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局

(福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内)

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)

TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389

E-mail:kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

